

長崎県の離島における道路の成果指標

平成26年3月

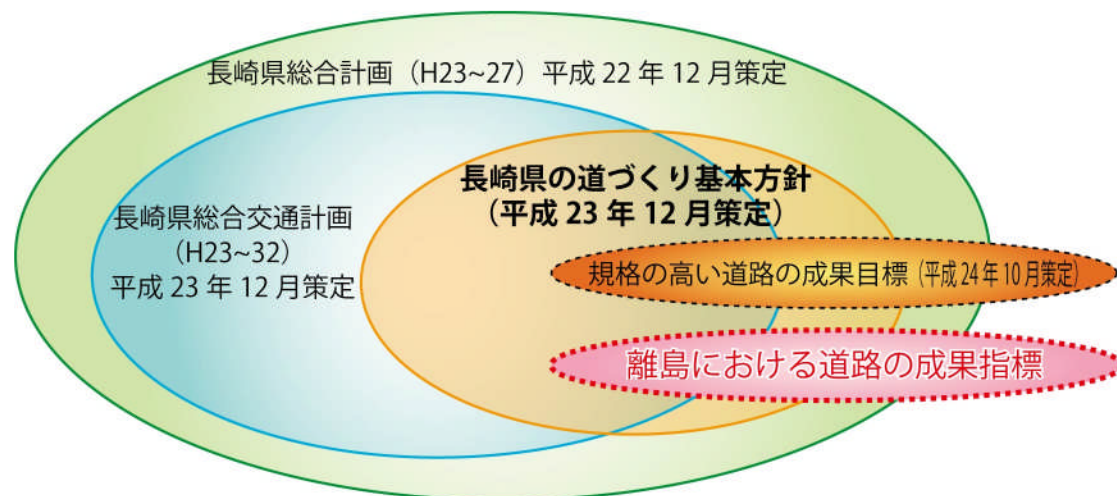
成果指標設定の目的とスケジュール

【背景と目的】

- 平成22年12月に「長崎県総合計画」を策定。
- 平成23年12月に「長崎県総合交通計画」、「長崎県の道づくり基本方針」を策定。
- 平成24年10月に道路整備の目標の1つとして、「規格の高い道路の成果目標」を策定。
- 本土とは交通環境、道路整備状況の異なる離島においては、整備方針や目標が策定されていない。
- 離島における道路整備について、成果指標を設定し、今後の目指す方向性を示すことを目的とする。

【スケジュール】

3月		
上	中	下
懇談会		公表



●図 離島の道路成果指標イメージ図

※議事内容

懇談会：成果指標の設定方針と
成果指標案について

目次

1. 長崎県の道づくり基本方針の課題の確認
2. 離島の現状と道路行政における課題の整理
3. 課題解決の為の評価項目の設定
4. 各評価項目における成果指標の設定
5. 成果指標から見た現状と課題
6. 今後の検討課題

1. 長崎県の道づくり基本方針の課題の確認

長崎県の道づくり基本方針の課題

道路を取り巻く近年の状況

道路整備の現状

道路交通の現状

10の課題

課題1	所要時間の短縮や定時性の確保による、産業振興や観光振興の支援
課題2	高速交通ネットワークや大型プロジェクトとの連携
課題3	道路災害の未然防止、災害発生時に重要な役割を果たす緊急輸送道路や代替ルート確保
課題4	歩行者や通行車両の安全・安心な移動の確保
課題5	半島部・離島部における高次救急医療施設などへの搬送時間の短縮
課題6	既存ストックを荒廃させない適切な維持管理、維持補修費用の抑制・平準化
課題7	都市部の厳しい交通渋滞の解消・緩和
課題8	離島部などの日常生活等における利便性向上
課題9	地球温暖化対策としての渋滞緩和や沿道環境への配慮
課題10	自然景観や街並み景観への配慮

2. 離島の現状と道路行政における課題の整理

離島の現状 人口

- ・離島地域は過去20年間で人口が25%減少し、県平均10%に比べ、15ポイントほど減少率が高い。
- ・将来予測は30年後にさらに4割程度の人口減少が見込まれている。

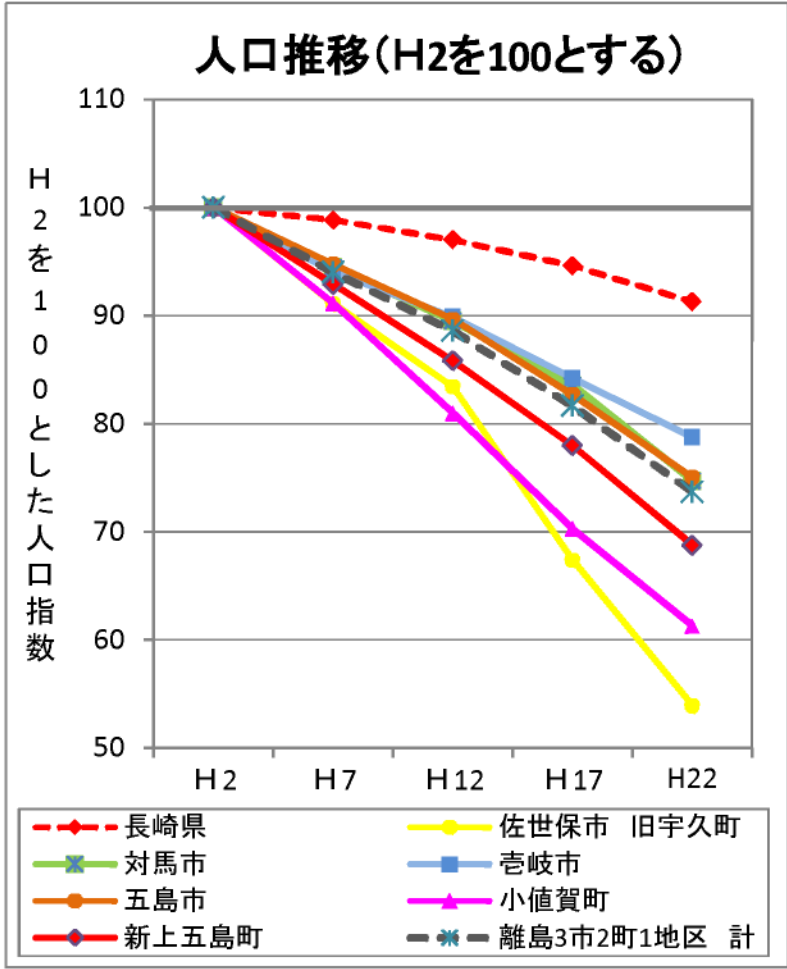


図 人口の推移
資料:国勢調査

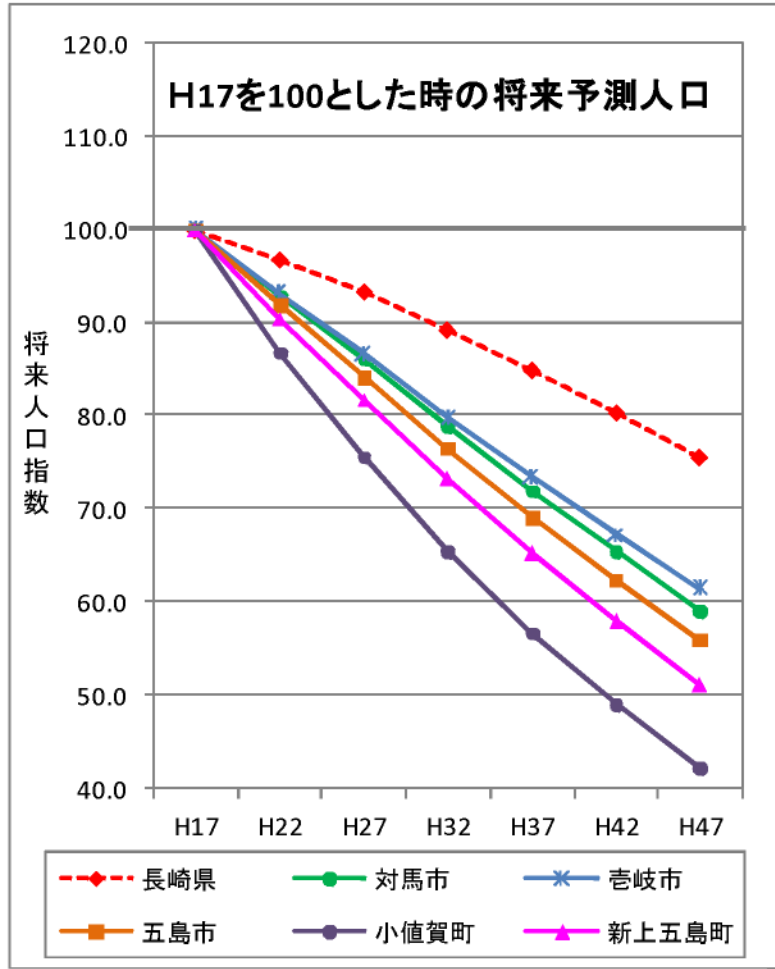


図 将来人口の推移
資料:人口問題研究所

離島の現状 高齢化

- ・離島地域は過去20年間で15%増加し3人に1人は65歳以上という状況である。小値賀町、宇久島は2人に1人が65歳以上に近づく勢いである。
- ・全国、県平均に比べ高齢化率は高く、高齢化の進展も早くなっている。

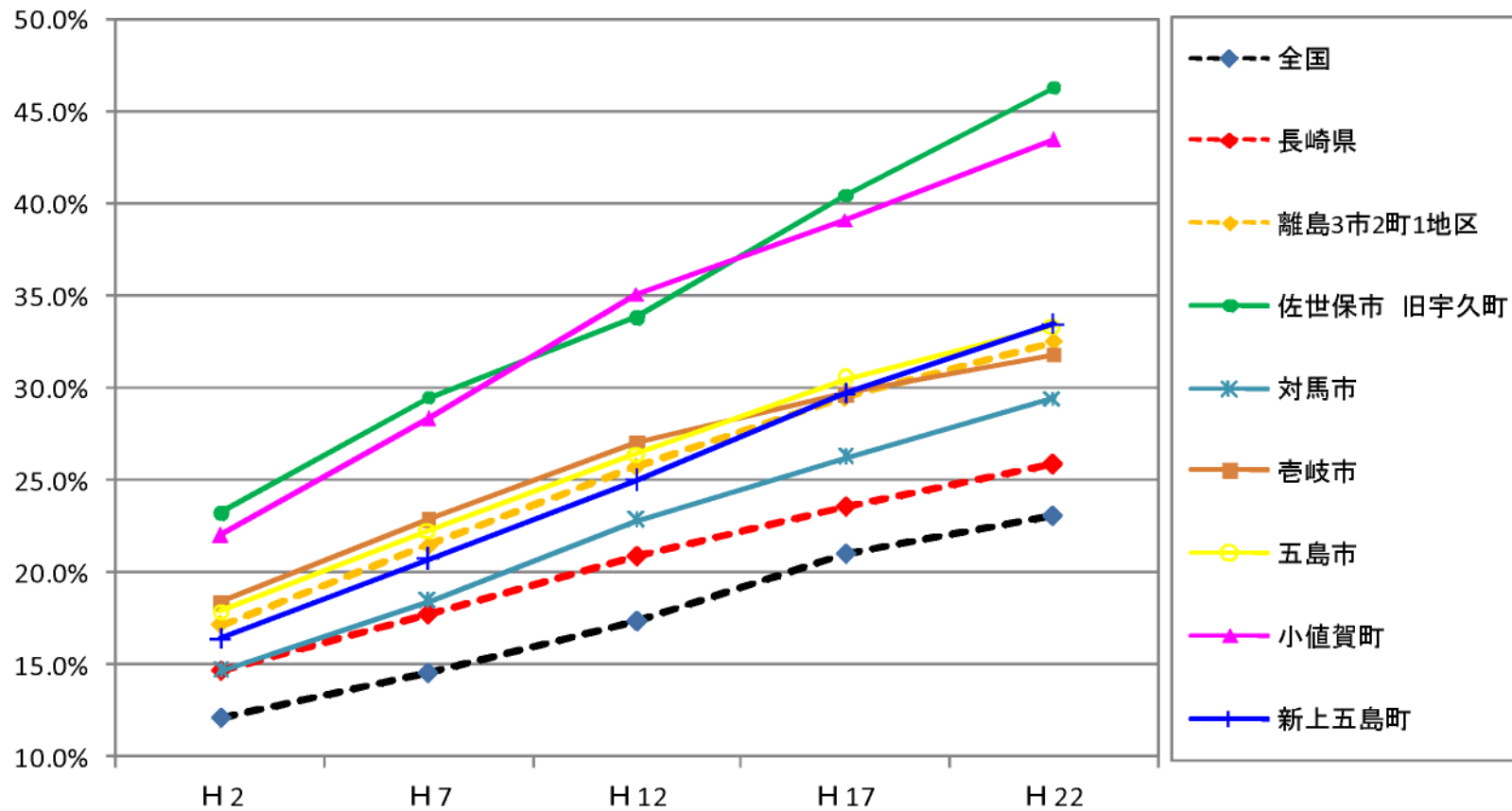


図 高齢化率 資料:国勢調査

離島の現状 就業状況

・全国、長崎県に比べ、第一次産業の就業割合が比較的高い。特に対馬市、小値賀町、新上五島町の漁業や壱岐市、五島市、小値賀町の農林業の割合が高くなっている。

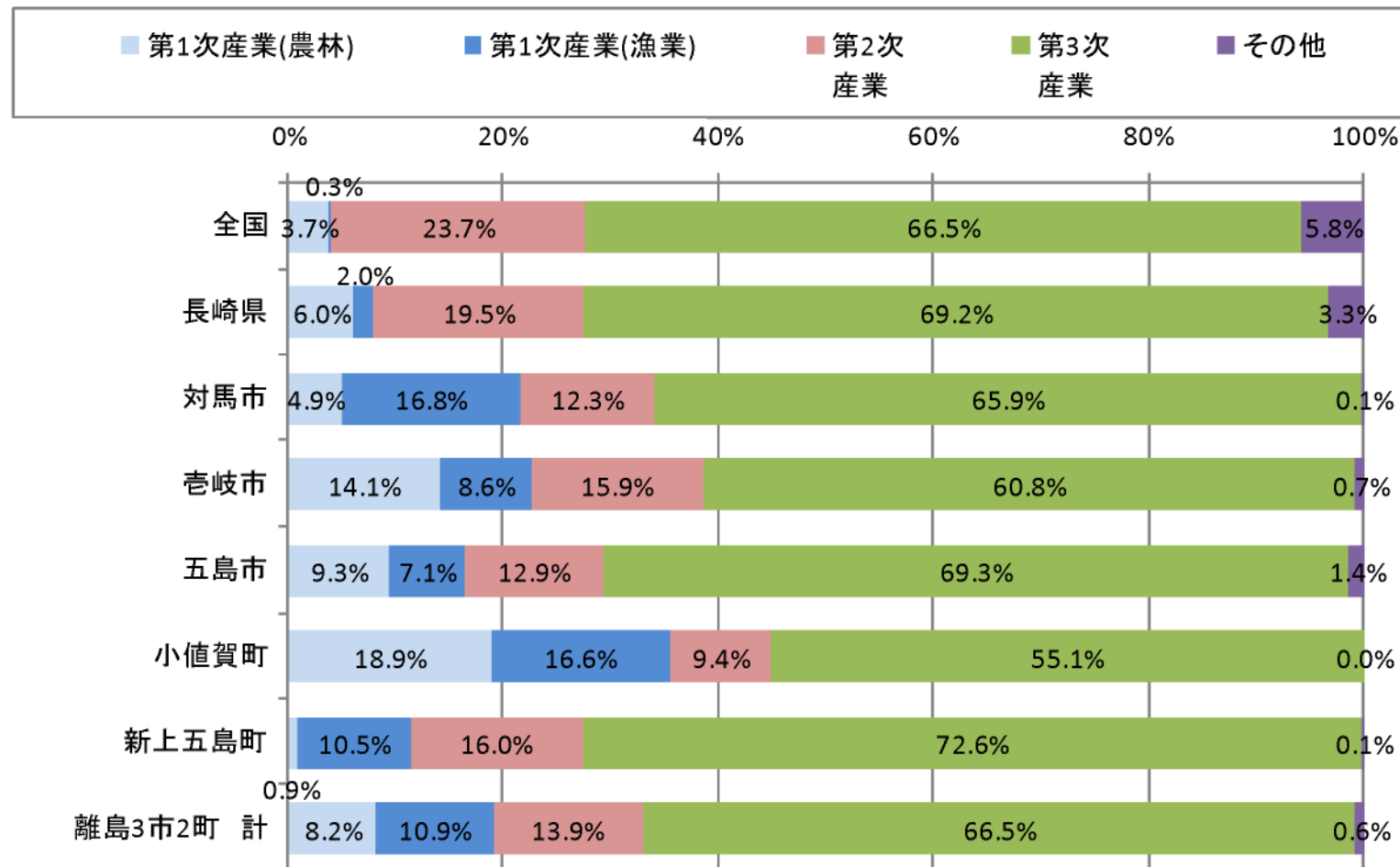


図 就業人口割合 資料:H22国勢調査

離島の現状 漁業

- ・離島地域は水産業が盛んであり、県の漁獲量の4割以上を占めている。また、総生産に占める割合も全国や長崎県平均に比べ高く、経済の漁業依存が比較的高いと考えられる。
- ・しかし経年的には減少傾向であり、離島地域全体では10年間で35%漁獲量が少なくなっている。

表 海面漁業漁獲量の推移

	単位：t						
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
長崎県	382,638	350,537	317,683	299,967	278,427	287,028	287,202
対馬市	24,452	24,230	23,312	23,753	21,194	22,403	23,304
壱岐市	10,603	9,286	10,700	9,807	8,837	8,930	10,583
五島市	25,143	23,737	21,588	18,571	17,972	22,017	16,492
小値賀町	1,580	1,814	1,910	1,733	1,517	1,640	1,758
新上五島町	116,829	100,738	83,852	73,213	68,082	67,921	63,969
3市2町計	178,607	159,805	141,362	127,077	117,602	122,911	116,106

	H17	H18	H19	H20	H21	H21/H10	県計に占める割合 H21
長崎県	305,424	271,867	300,059	302,844	267,851	0.70	-
対馬市	21,168	19,954	19,813	20,411	19,140	0.78	7.1%
壱岐市	8,607	7,733	9,527	7,945	7,929	0.75	3.0%
五島市	17,165	13,982	19,332	17,148	17,077	0.68	6.4%
小値賀町	1,331	1,449	1,476	1,355	1,216	0.77	0.5%
新上五島町	81,196	57,969	59,144	57,711	69,657	0.60	26.0%
3市2町計	129,467	101,087	109,292	104,570	115,019	0.64	42.9%

※旧宇久町(佐世保市宇久地区)は含まない

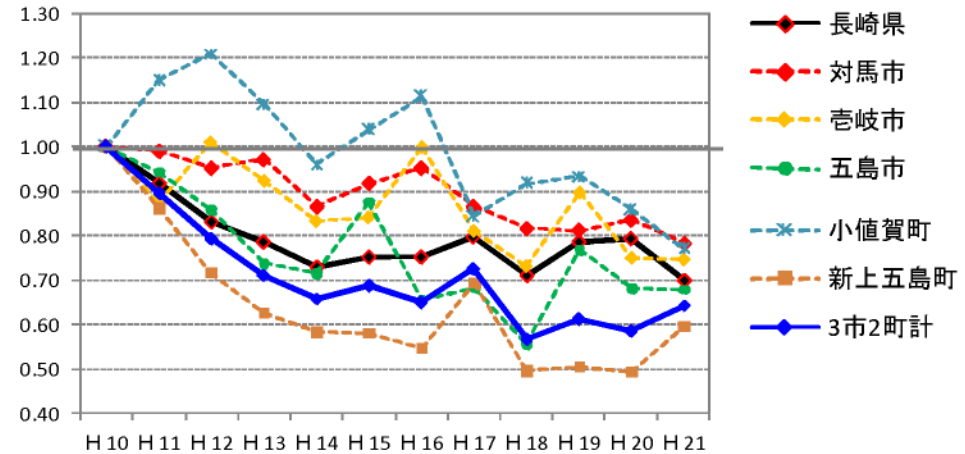


図 海面漁業漁獲量推移(H10を1とした時)

資料：「長崎農林水産統計年報(九州農政局)」(長崎県社会生活統計指標基礎データ編)

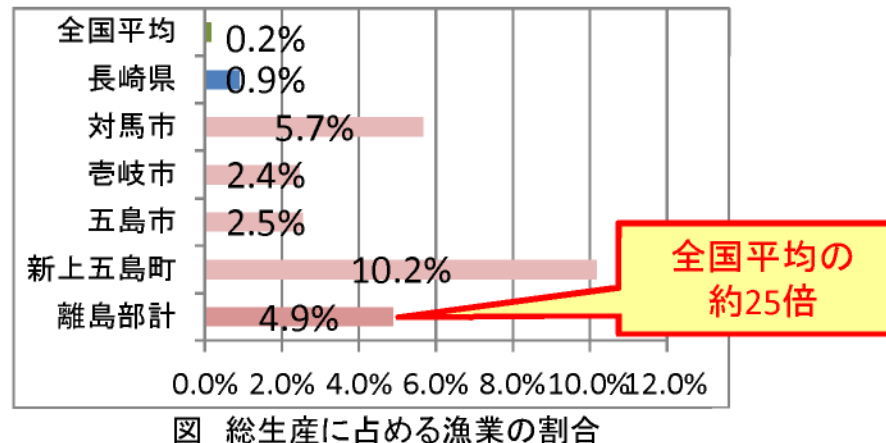


図 総生産に占める漁業の割合

資料：全国、長崎県の総生産：H22県民総生産、離島部の総生産：H22長崎県市町村総生産

離島の現状 農業

- ・離島地域の中では地形的に緩やかな、壱岐市、五島市で比較的農業産出額が高く農業が盛んである。また、総生産に占める割合も全国や長崎県平均に比べ高く、経済の農業依存が比較的高いと考えられる。
- ・地形的に険しい対馬、上五島や少島である小値賀島は県産出額の1%にも満たない生産額である。

表 農業産出額の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H18/H10	県計に占める割合 H18
長崎県	14,775	13,729	13,687	13,133	13,012	13,394	13,555	13,675	13,295	0.90	-
対馬市	97	93	88	84	78	87	85	83	86	0.89	0.6%
壱岐市	587	578	596	546	570	566	632	630	611	1.04	4.6%
五島市	654	634	671	651	602	543	600	613	566	0.87	4.3%
小値賀町	50	49	49	42	49	46	48	55	53	1.06	0.4%
新上五島町	38	32	31	31	32	32	35	31	31	0.82	0.2%
3市2町計	1,426	1,386	1,435	1,354	1,331	1,274	1,400	1,412	1,347	0.94	10.1%

単位：千万円

※旧宇久町(佐世保市宇久地区)は含まない

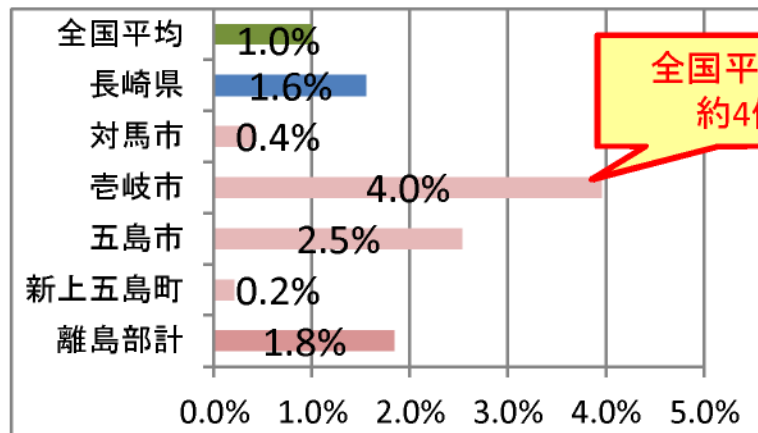


図 総生産に占める農業の割合

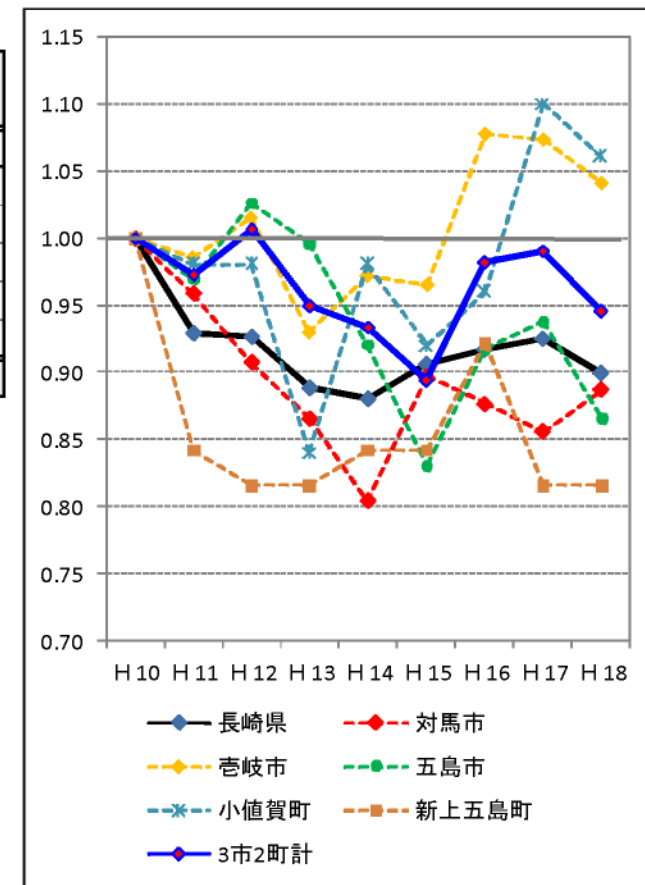


図 農業産出額の推移(H10を1とした時)

資料:「長崎農林水産統計年報(九州農政局)」「長崎県社会生活統計指標基礎データ編」

離島の現状 製造業

・離島地域の製造品出荷額は各市町とも県計に占める割合は0.5%以下と少ない。離島地域3市2町合わせても県計の1%弱に過ぎず、製造業は小規模なものと考えられる。

表 離島地域の製造品出荷額の推移

単位：百万円

	H19	H20	H21	H21/ H19	県計に占める割合 H21
長崎県	1,928,210	1,823,417	1,675,555	0.87	-
対馬市	6,029	4,349	4,112	0.68	0.2%
壱岐市	8,103	8,079	7,860	0.97	0.5%
五島市	6,283	6,452	6,149	0.98	0.4%
小値賀町	-	-	-	-	-
新上五島町	2,120	2,145	2,408	1.14	0.1%
3市2町計	22,535	21,025	20,529	0.91	1.2%

※旧宇久町(佐世保市宇久地区)は含まない

※資料：「長崎県工業統計調査」(長崎県社会生活統計指標基礎データ編)

(H19年に調査項目を変更したためH18年以前の数値とは接続しない)

離島の現状 商業

- ・離島地域の年間商品販売額は、県計に占める割合6%であり、県に占める人口割合9%と比較して小さいことから、離島内での商業活動は比較的小規模なものと考えられる。
- ・年間商品販売額は過去10年で地域全体で約12%減少しているが、県平均に比べれば、下げ幅は小さい。

表 離島地域の年間商品販売額の推移

単位：百万円

	H 8	H 10	H 13	H 15	H 16	H 19	H 19/ H 8	県計に占める割合 H 19
長崎県	3,794,749	3,788,907	3,298,063	3,361,222	3,359,016	3,024,321	0.80	-
対馬市	60,255	62,020	52,151	56,706	56,706	52,176	0.87	1.7%
壱岐市	49,665	50,146	44,352	44,980	44,973	45,950	0.93	1.5%
五島市	75,050	73,213	74,046	76,977	76,978	65,063	0.87	2.2%
小値賀町	3,173	2,608	2,244	2,130	2,130	1,904	0.60	0.1%
新上五島町	31,288	37,933	35,603	29,475	29,461	28,073	0.90	0.9%
3市2町計	219,431	225,920	208,396	210,268	210,248	193,166	0.88	6.4%

表 離島地域の人口

	H22	長崎県に占める割合
長崎県	1,426,779	
佐世保市 旧宇久町	2,591	0.2%
対馬市	34,407	2.4%
壱岐市	29,377	2.1%
五島市	40,622	2.8%
小値賀町	2,849	0.2%
新上五島町	22,074	1.5%
離島3市2町1地区 計	131,920	9.2%

※資料：H22国勢調査

※旧宇久町(佐世保市宇久地区)は含まない

※資料：「商業統計表」(長崎県社会生活統計指標基礎データ編)飲食店を含まず

離島の現状 観光

- ・観光消費額の総生産に占める割合が高く、離島経済の観光依存度が比較的高いと考えられる。
- ・観光消費額はウォン安などの影響により韓国人旅行者が急増した対馬市を除いて、減少又は横ばい傾向である。
- ・韓国人旅行者が急増した対馬市では、観光地をめぐる大型観光バスの通行に支障をきたしている状況があり、観光客の受け入れ環境が追いついていない状況である。(ヒアリングによる)

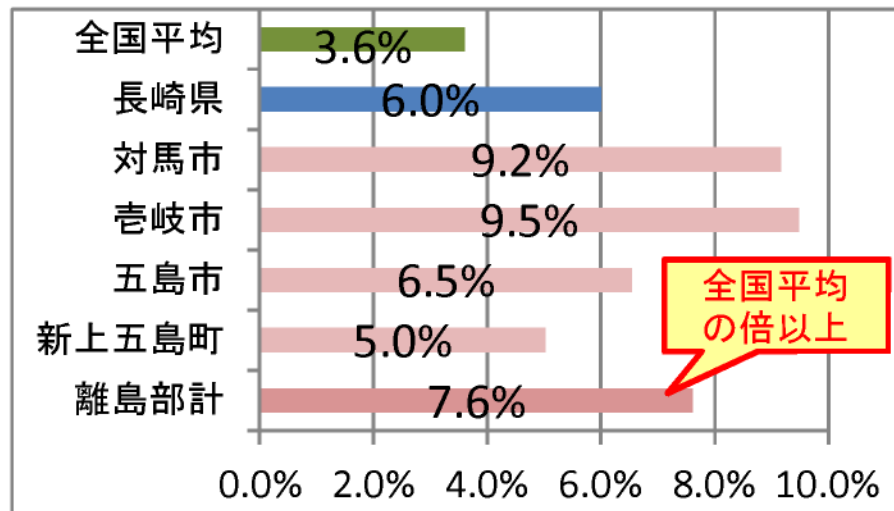


図 総生産に占める観光消費額の割合

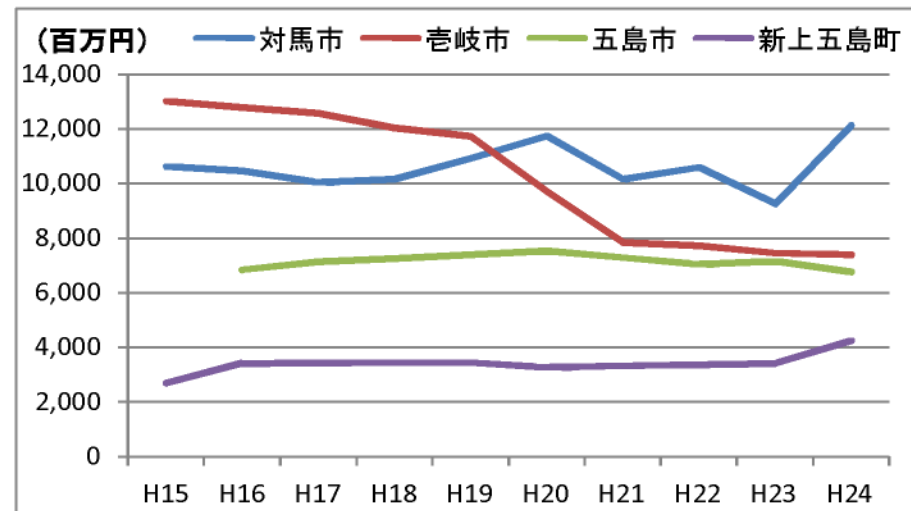




図 観光消費額の推移

資料： 全国、長崎県の総生産：H22県民総生産、離島部の総生産：H22長崎県市町村総生産
 全国、長崎県の観光消費額：H23観光入込客統計(42都道府県)
 離島部の観光消費額：H23長崎県観光統計及び長崎県観光消費額時系列データ、五島市は五島市統計書

離島の現状 世界遺産候補と重要文化的景観

- ・五島市と新上五島町には、「世界遺産暫定一覧表」に登録されている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」である旧五輪教会堂、江上天主堂、頭ヶ島天主堂があり、主要な観光地にもなっている。
- ・また、旧五輪教会堂、頭ヶ島天主堂の周辺地域は、特に重要なものとして文化財保護法第134条第1項の規定に基づき国(文部科学大臣)が選定した文化財である、重要文化的景観に指定されている。

凡 例	
	:長崎のキリスト教関連遺産(世界遺産候補)
	:重要文化的景観 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの(文化財保護法第二条第1項第五号より)



離島の現状 公共施設、交通施設

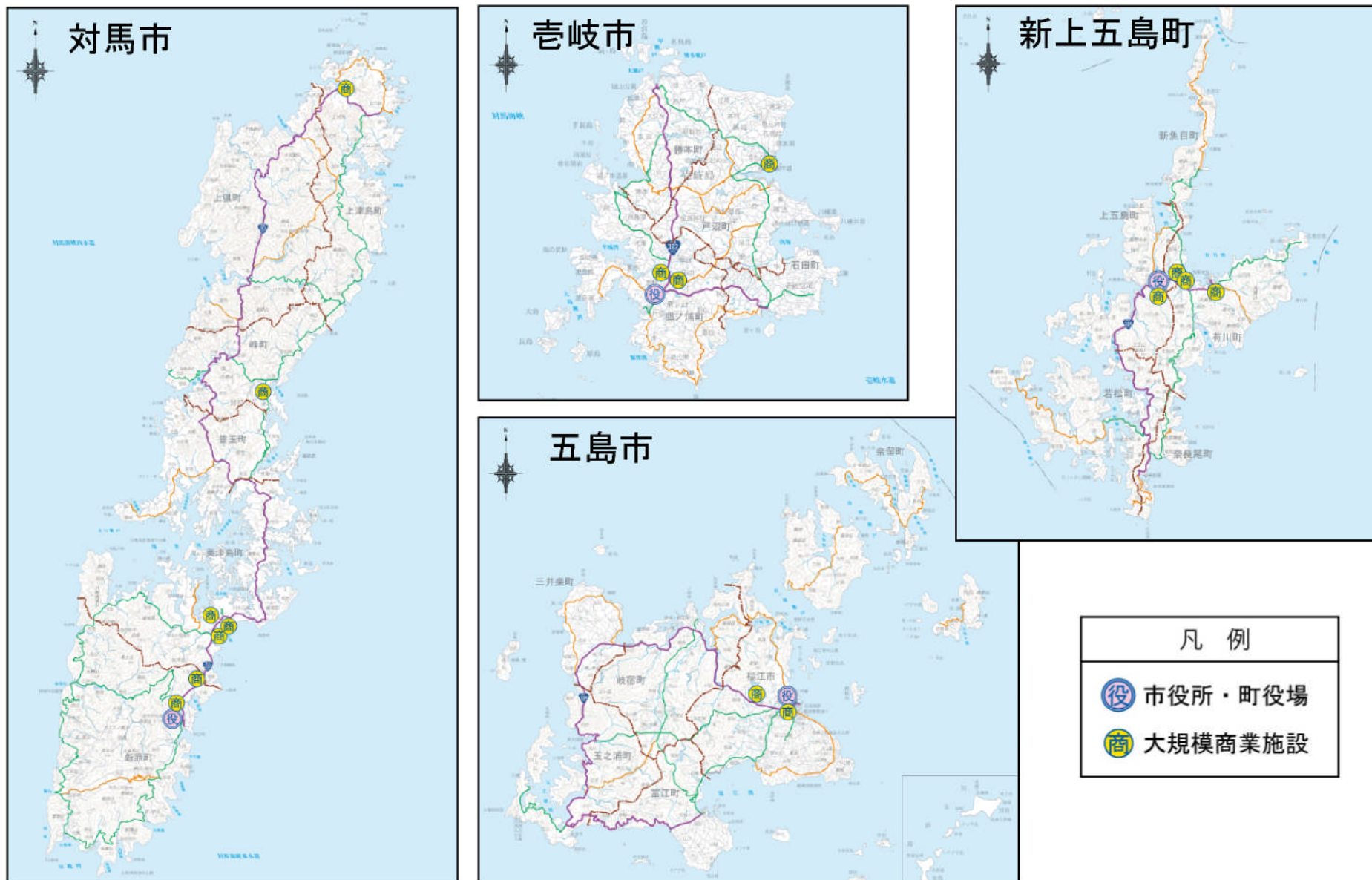
- ・警察署、保健所、税務署などの公共施設は、一部を除いて中心地(役場所在地)に集中している。
- ・交通施設については、対馬市、五島市は数が少なく、そのほとんどが中心地周辺に位置する。



凡例	
役	市役所・町役場
支	支所等(旧町役場)
県	長崎県振興局
警	警察署
消	消防署
保	保健所
労	労働基準監督署
八	ハローワーク
税	税務署
裁	裁判所
空	空港
港	本土へのフェリー・高速船乗り場

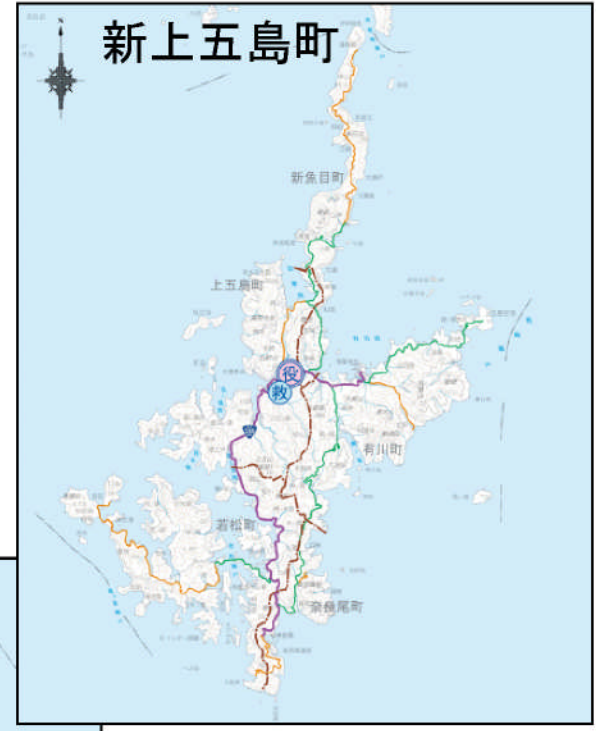
離島の現状 商業施設

・大規模商業施設は、一部を除いて中心地周辺に集中している。



離島の現状 救急医療施設

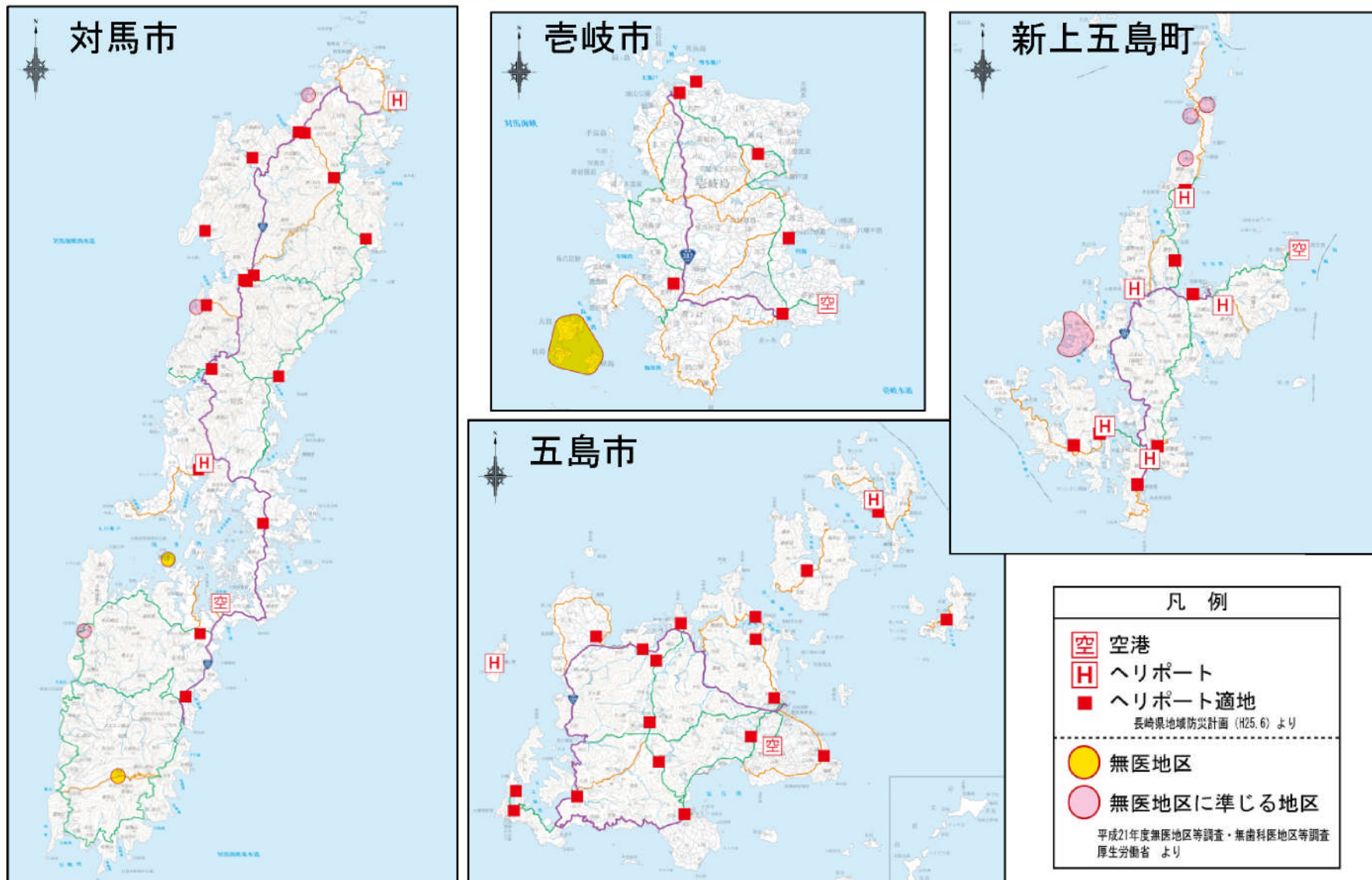
・救急医療に対応する第2次救急医療施設が各島に1~2施設しかなく、多数が中心地周辺に位置している。



凡例	
	市役所・町役場
	第2次救急医療施設

離島の現状 救急医療体制と無医地区

- ・島外への救急搬送のため、ドクターヘリ等の発着できるヘリポートやヘリポート適地が指定されている。
- ・対馬市と壱岐市に無医地区が存在しており、対馬市と新上五島町には無医地区に準じる地区が存在する。



離島の現状 航路・航空路利用状況

- ・離島は海により本土と隔てられているため、航路・航空路の重要性が高く、離島人口あたりの利用人員は長崎県計を大きく上回っている。
- ・航路の利用目的をみると、通院、知人宅への訪問、買い物などがそれぞれ10%弱～20%程度占めており、離島の日常生活に欠かせない交通手段となっている。

表 船舶・航空便の乗降人員(離島居住者以外も含む)

	H23船舶乗降人員 ※1	H23航空便乗降人員 ※2	合計	H22国勢調査人口	人口あたり 乗降人員
対馬市	303,045	256,196	559,241	34,407	16.3
壱岐市	588,214	28,075	616,289	29,377	21.0
五島市	732,979	126,733	859,712	40,622	21.2
新上五島町	159,527	0	159,527	22,074	7.2
長崎県計	7,398,187	2,638,572	10,036,759	1,426,779	7.0

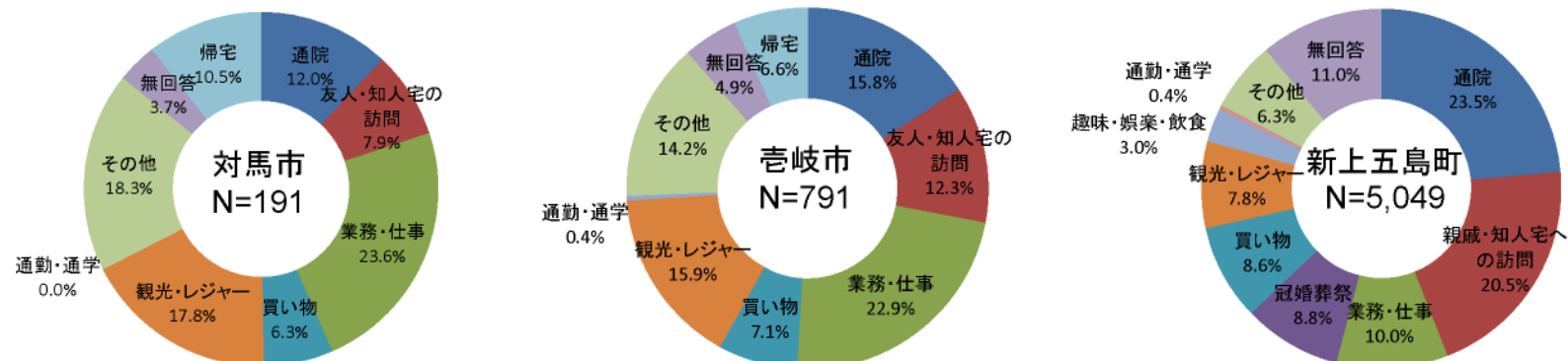
※1: 港湾調査年報より

統計上、甲種港湾、乙種港湾のデータしか集計されていないため、漁港での船舶乗降人員は含んでいない。

そのため、長崎航路がある奈良尾漁港、鯛ノ浦漁港を有する新上五島町の船舶乗降人員が少なくなっている。

※2: 長崎県統計年鑑(県新幹線・総合交通対策課調)より

参考 離島居住者の航路の利用目的



※対馬市、壱岐市は港湾利用者への調査(壱岐対馬航路公共交通総合連携計画より) 新上五島町は全世帯調査・回収率48.9%(新上五島町地域公共交通総合連携計画より)

離島の現状 道路災害の現状

- ・離島は本土に比べ自然災害発生の危険性が高い地域であり、近年も道路災害が発生している。
- ・また、緊急時の避難及び人員物資の輸送経路となる緊急輸送道路に未改良区間や防災対策を必要とする箇所が存在する。

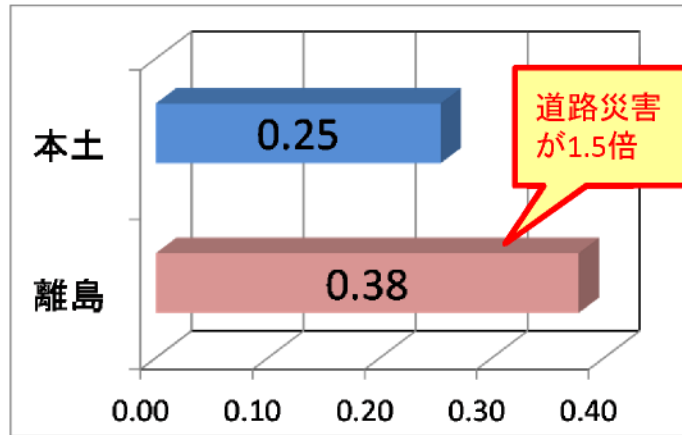
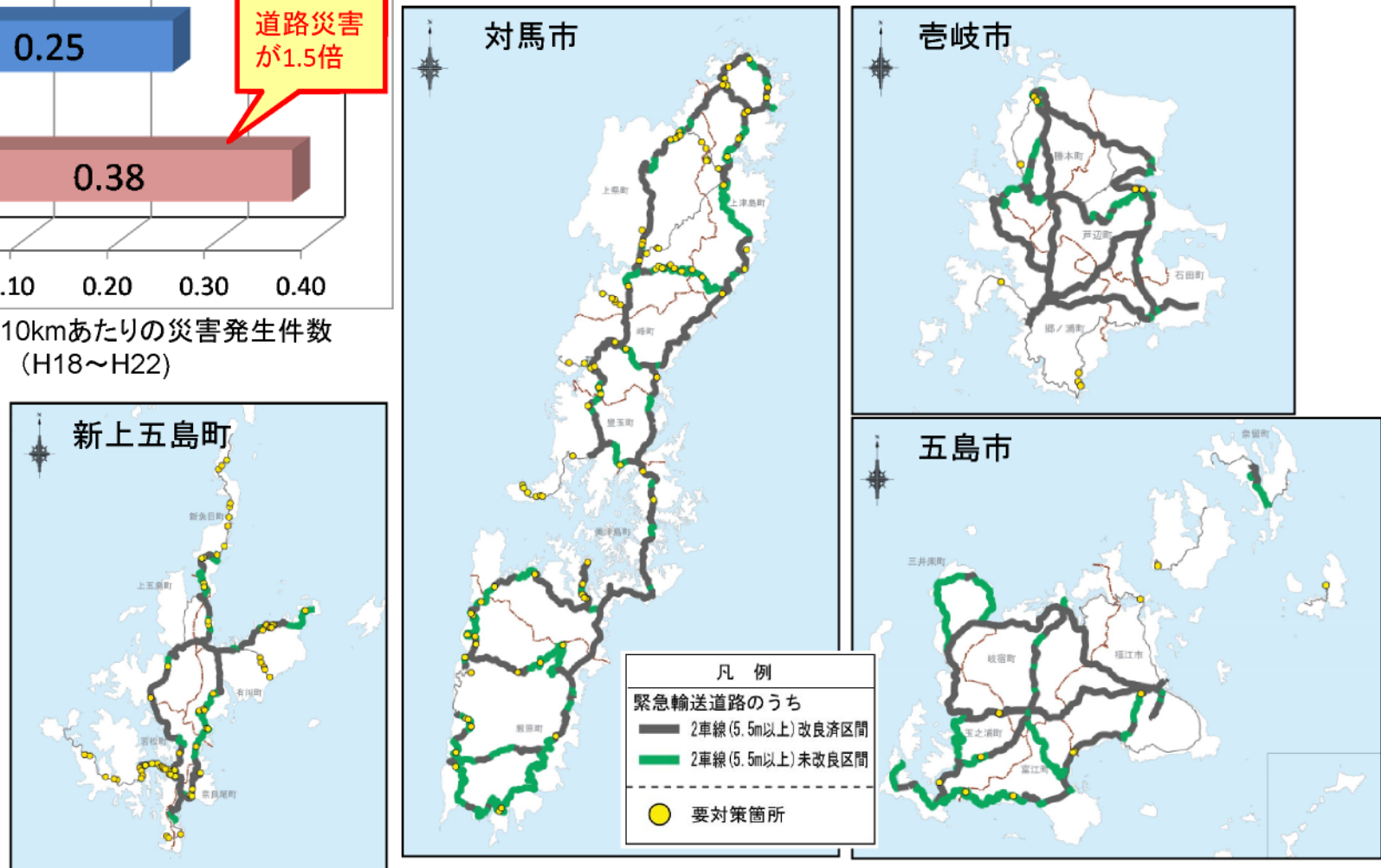


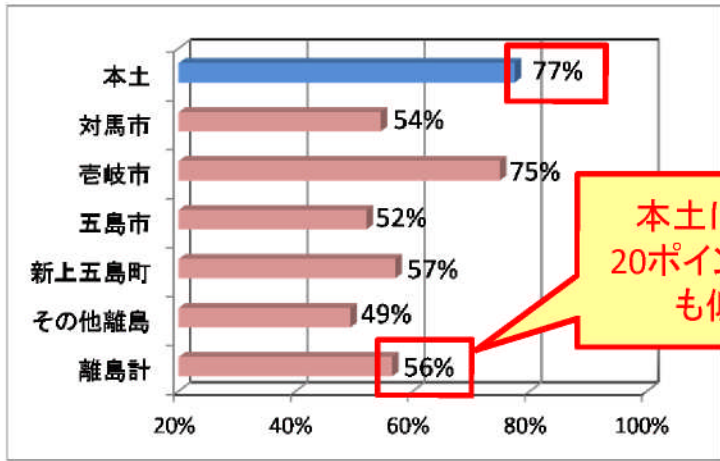
図 国・県道10kmあたりの災害発生件数 (H18~H22)

■緊急輸送道路と要対策箇所



離島の現状 道路整備の現状

- ・道路改良率は本土に比べ20ポイント以上低くなっており、走りにくい区間が多く存在する。
- ・第2次救急医療施設や空港、港湾などの交通施設へのアクセスにも未改良区間が多く存在する。

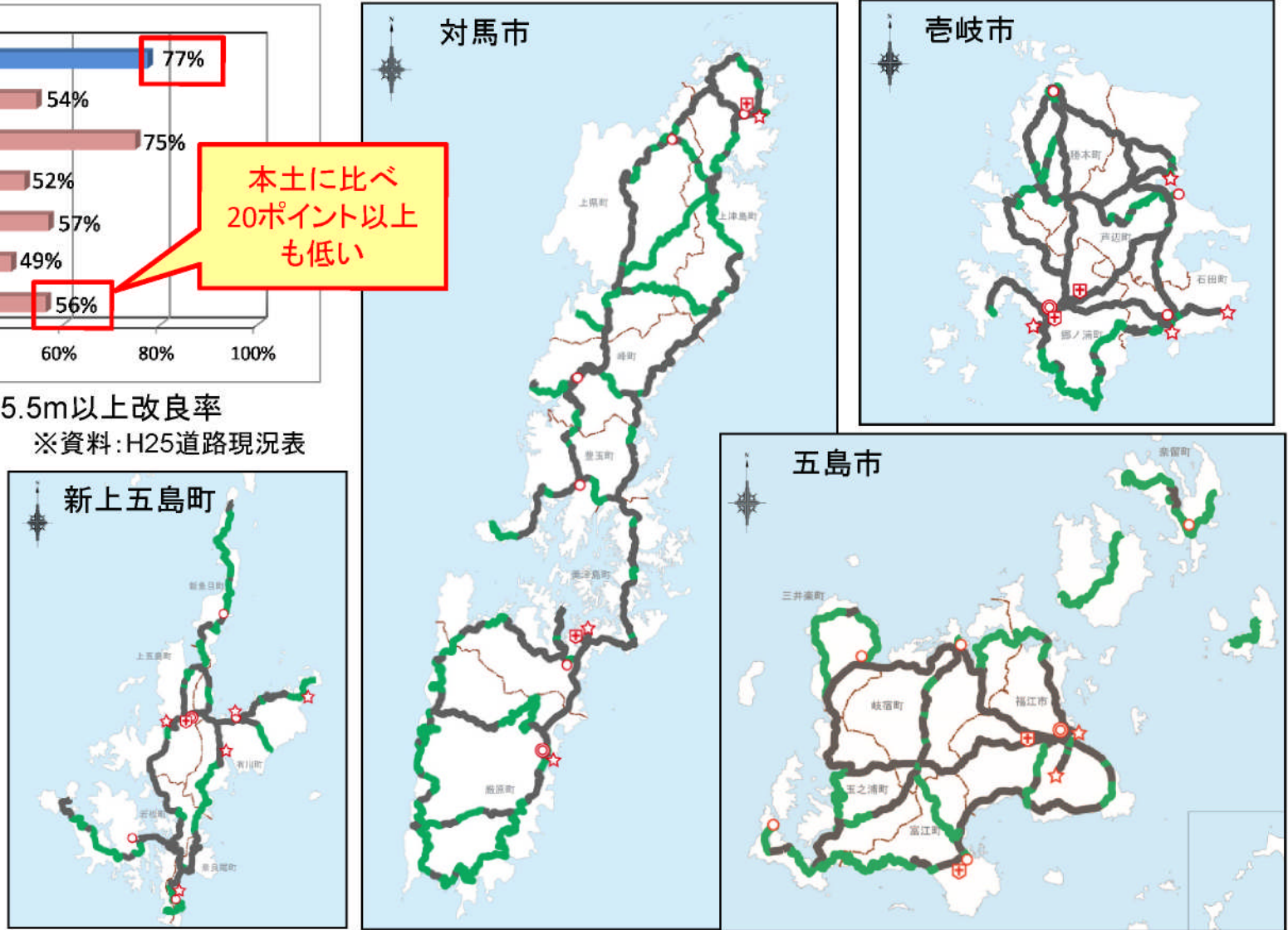


本土に比べ
20ポイント以上
も低い

図 国県道の5.5m以上改良率
※資料:H25道路現況表

5.5m以上改良状況

凡例	
■	2車線(5.5m以上)改良済区間
■	2車線(5.5m以上)未改良区間
◎	市役所・町役場
○	旧町役場(現支所等)
+	第2次救急医療施設
☆	本土旅客ターミナル(空港・フェリー・高速船)



離島の現状 道路交通の現状

・離島地域は本土に比べ、交通集中や道路の容量不足等による交通渋滞はほとんどない。

混雑はほとんどない

■ 離島の混雑度

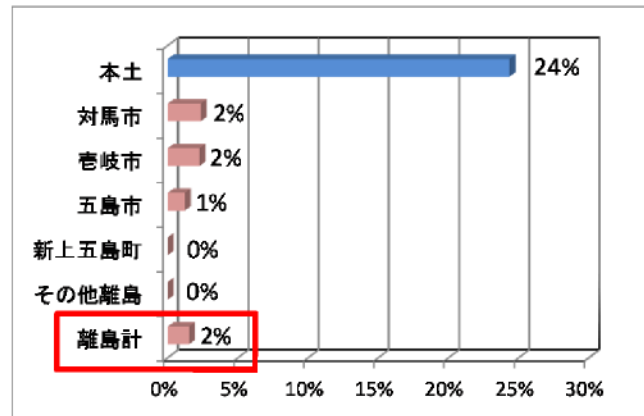


図 混雑度1.0以上の延長割合

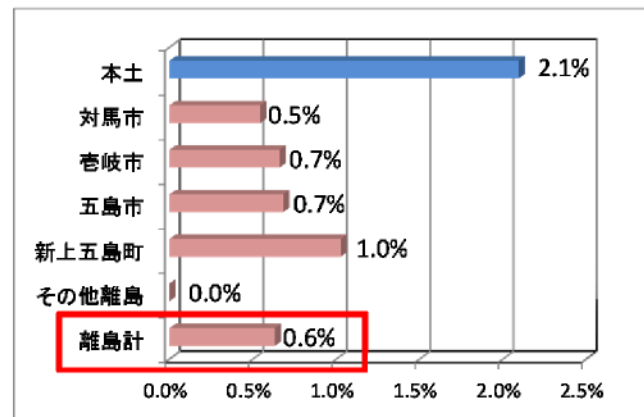
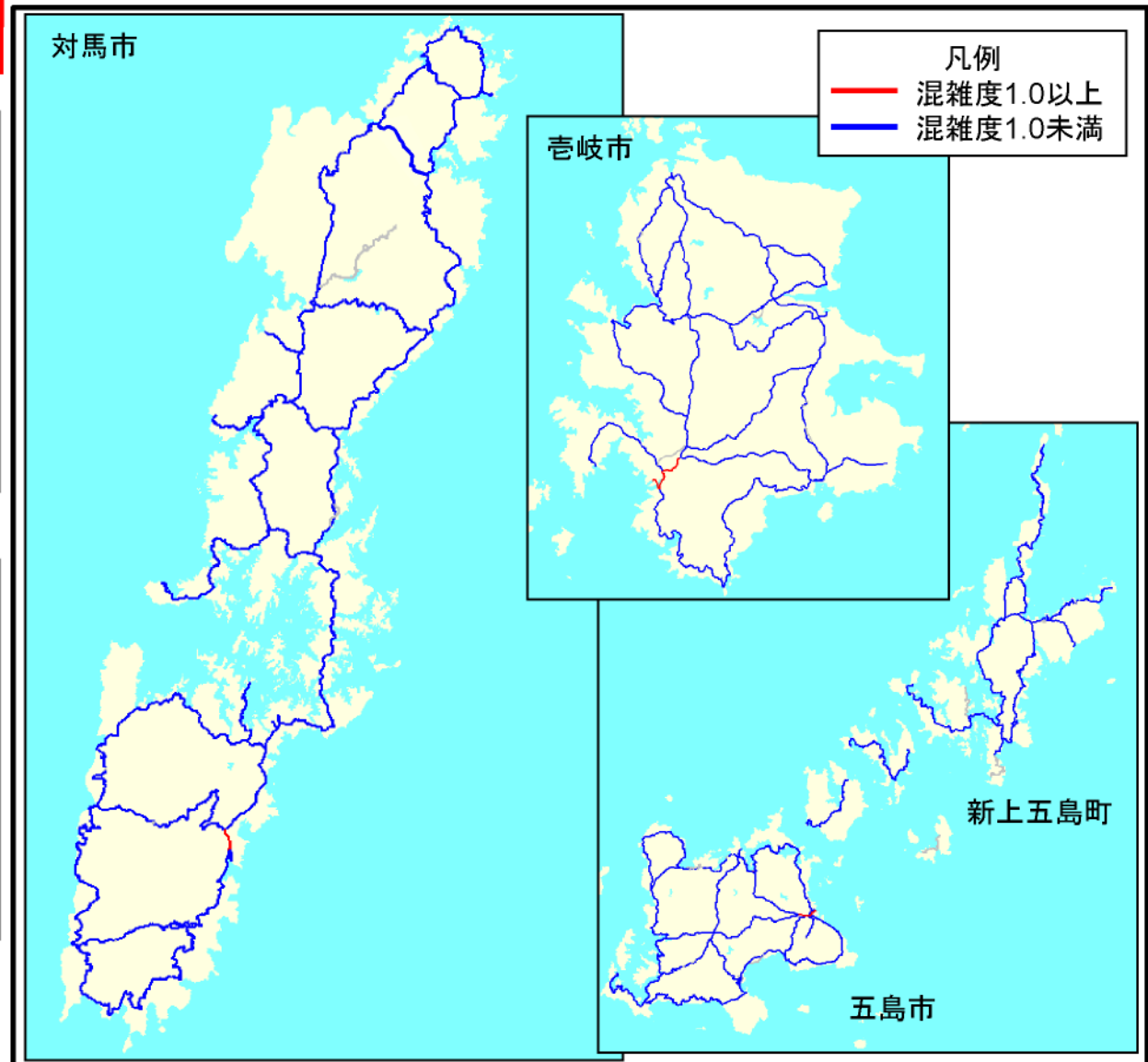


図 混雑時速度20km/h未満の延長割合

※資料:H22道路交通センサス



離島の道路行政における課題

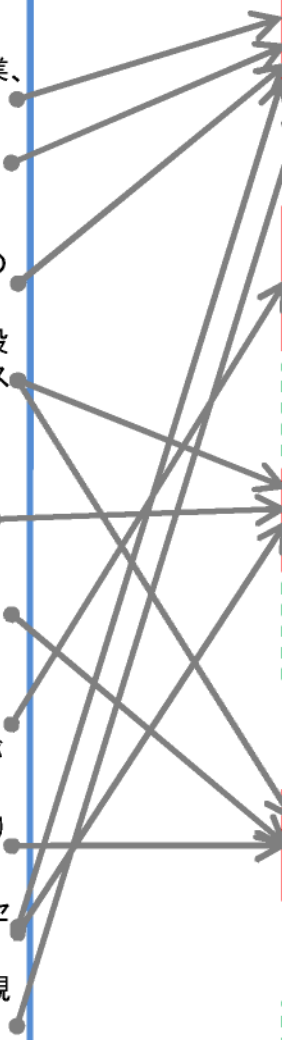
離島の現状

- 速いペースで人口減少、高齢化が進んでいる。
- 離島地域では漁業や農業などの第1次産業が盛んで、製造業、商業は比較的小規模なものとなっている。
- 観光消費額の総生産に占める割合が高く、離島経済の観光依存度が比較的高いと考えられるが、近年は対馬市を除いて、減少・横ばい傾向である。
- 五島市と新上五島町には、世界遺産候補の教会があり、その周辺地区は重要文化的景観に指定されている。
- 公共施設、交通施設、大規模商業施設、第2次救急医療施設などが中心地周辺に多く立地しているが、郊外部からのアクセスには道路の走りにくい区間が多数あり、日常生活上の不便を余儀なくされている。
- 島外への緊急輸送のため、ヘリポートやヘリポート適地が指定されている。
- 離島は海により本土と隔てられているため、航路・航空路の重要性が高く、利用目的も通院、知人宅への訪問、買い物などの割合が比較的高くなっており、離島生活で欠かせない交通手段となっている。
- 離島は本土に比べ道路災害発生の危険性が高く、緊急時の避難及び人員物資の輸送経路となる緊急輸送道路の重要性が高い。
- 道路改良率は本土に比べ20ポイント以上低くなっており、走りにくい区間が多く存在する。
- 第2次救急医療施設や空港、港湾などの交通施設へのアクセスにも未改良区間が多く存在する。
- 韓国人旅行者が急増した対馬市では、観光地をめぐる大型観光バスの通行に支障をきたしている状況があり、観光客の受け入れ環境が追いついていない状況である。(ヒアリングによる)
- 離島地域は本土に比べ、交通集中や道路の容量不足等による交通渋滞はほとんどない。

長崎県の道づくり基本方針の10の課題

- 課題1** 所要時間の短縮や定時性の確保による、産業振興や観光振興の支援
- 課題2 高速交通ネットワークや大型プロジェクトとの連携
- 課題3** 道路災害の未然防止、災害発生時に重要な役割を果たす緊急輸送道路や代替ルートの確保
- 課題4 歩行者や通行車両の安全・安心な移動の確保
- 課題5** 半島部・離島部における高次救急医療施設などへの搬送時間の短縮
- 課題6 既存ストックを荒廃させない適切な維持管理、維持補修費用の抑制・平準化
- 課題7 都市部の厳しい交通渋滞の解消・緩和
- 課題8** 離島部などの日常生活等における利便性向上
- 課題9 地球温暖化対策としての渋滞緩和や沿道環境への配慮
- 課題10 自然景観や街並み景観への配慮

 離島で主要な課題
 その他配慮する課題



3. 課題解決の為の評価項目の設定

課題解決の為の評価項目の設定

離島の課題

(長崎県の道づくり基本方針より)

<p>産業振興や観光振興の支援 【課題1】</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島地域では漁業や農業などの第1次産業が盛んで、製造業、商業は比較的小規模なものとなっている。 離島経済の観光依存度が比較的高い。 空港、港湾などの交通施設へのアクセスに未改良区間が多く存在する。
<p>災害発生時に重要な役割を果たす緊急輸送道路の確保【課題3】</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島は本土に比べ道路災害発生危険性が高く、緊急時の避難及び人員物資の輸送経路となる緊急輸送道路の重要性が高い。
<p>高次救急医療施設などへの搬送時間の短縮【課題5】</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次救急医療施設へのアクセスに未改良区間が多く存在する。
<p>日常生活等における利便性の向上【課題8】</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心地周辺に多く立地する公共施設、交通施設、大規模商業施設、第2次救急医療施設などへのアクセスに道路の走りにくい区間が多数あり、日常生活上の不便を余儀なくされている。 離島は海により本土と隔てられているため、航路・航空路の重要性が高く、利用目的からも、離島生活で欠かせない交通手段となっている。

課題解決の為の評価項目



上位計画・関連計画

(離島の道路整備と直接的に関連する施策を抜粋)

<p>長崎県離島振興計画 「講じようとする分野別の主な離島施策」より</p> <p>(1) 総合的な交通体系の整備 ○観光地等と港湾・空港、観光地間、集落と第2次救急医療施設を結ぶ道路などの交通円滑化</p> <p>(6) 生活環境の整備 ○住民やしまを訪れる方々が安全に安心して生活・滞在できる社会づくり(交通安全、防犯、消費生活、食の安全安心など)</p> <p>(11) 観光の振興 ○主要幹線道路など交通ネットワークの充実や離島交通の結節点としての機能を有する港湾・漁港の整備</p> <p>(15) 防災対策の推進 ○水害・土砂災害・高潮・海岸浸食・津波等の自然災害に対する基盤整備等防災対策の推進</p>
<p>長崎県の道づくり基本方針 「基本方針5つの視点と10の施策」より</p> <p>視点2 災害に強い道づくり ・災害の多発する長崎県では防災対策が強く望まれており、安全・安心な地域づくりに寄与する災害に強い道づくりを目指します。 →施策2. 道路防災対策</p> <p>視点3 安全・安心な社会を支える道づくり ・安全・安心な地域社会の基盤となる道づくりを目指します。 →施策3-2. 救急医療体制強化の支援</p> <p>視点4. 便利で快適な暮らしを支える道づくり ・通勤・通学、買い物などの日常生活において、便利で快適に移動することができる道づくりを目指します。 →施策4-2. 離島部などの生活道路対策</p>

4. 各評価項目における成果指標の設定

各評価項目における成果指標の設定【1.成果指標とは】

課題解決の為の評価項目に対して、その達成状況を定量的にわかりやすく計るために、各項目に即した成果指標を設定する。

島民の生活の質向上

1. 市役所・町役場へのアクセス
2. 本土旅客ターミナルへのアクセス
3. 第2次救急医療施設へのアクセス

産業活性化・防災機能強化

1. 農水産業輸送経路
2. 観光ネットワーク
3. 緊急輸送道路ネットワーク

評価項目及び離島の課題に即した成果指標を設定

課題解消の度合いを評価・検証⇒次の道路整備へ

各評価項目における成果指標の設定【2.指標設定の考え方】

離島地域は本土に比べ、交通集中や道路の容量不足等による交通渋滞はほとんどないものの、道路改良が遅れており、線形不良、離合困難などの走りにくい箇所が数多く存在する。

本土に比べ低い道路改良率

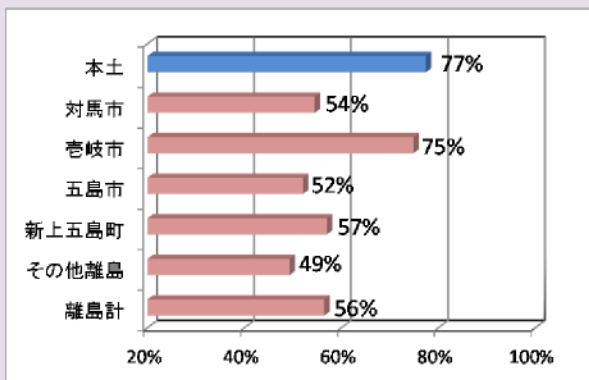


図 5.5m以上改良率

混雑度1.0以上の区間は僅か2%

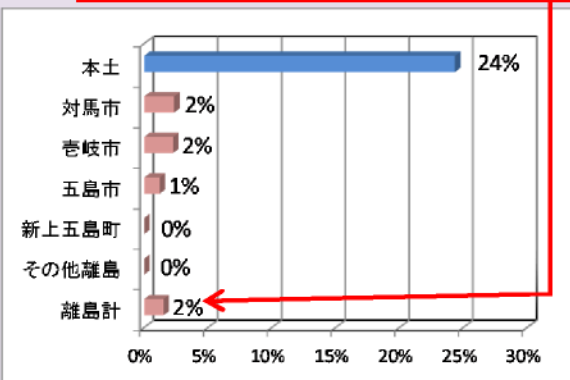


図 混雑度1.0以上の延長割合

速度の低い区間は僅か0.6%

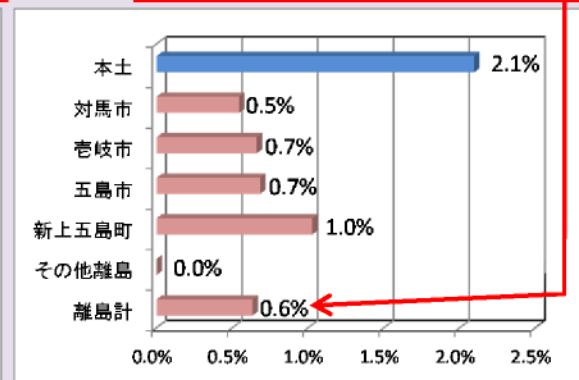


図 混雑時速度20km/h未満の延長割合

※:対象とした路線:自動車専用道路を除く国道・県道

資料:改良率(H25道路現況表)、他(H22道路交通センサス)

成果指標には道路の走りやすさを評価する指標を設定

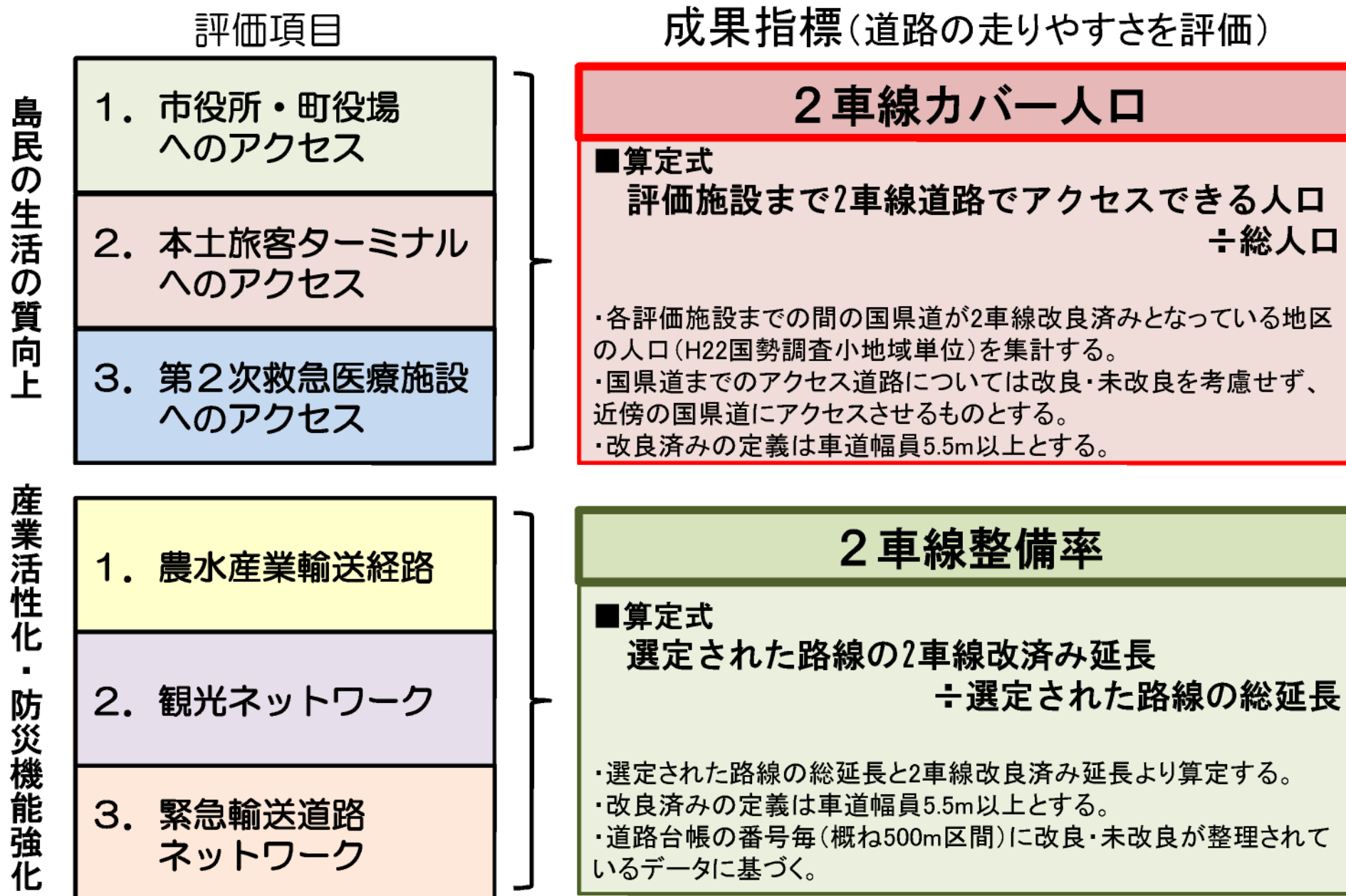
島民の生活の質向上

島民の生活に密着した主要施設へのアクセス改善を図る項目のため、どの程度の人が安全・安心にアクセス可能となるかを計る指標として、**各施設まで走りやすい道路(2車線改良済道路)でアクセスできる人口の割合**を成果指標とする。

産業活性化・防災機能強化

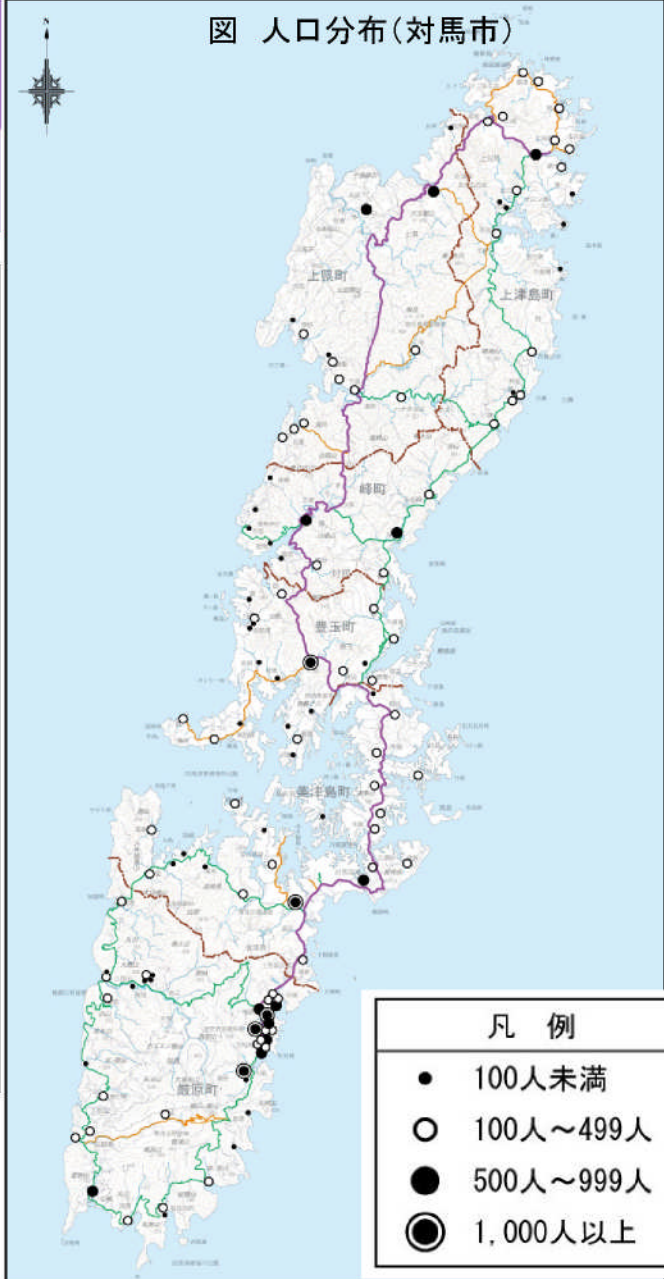
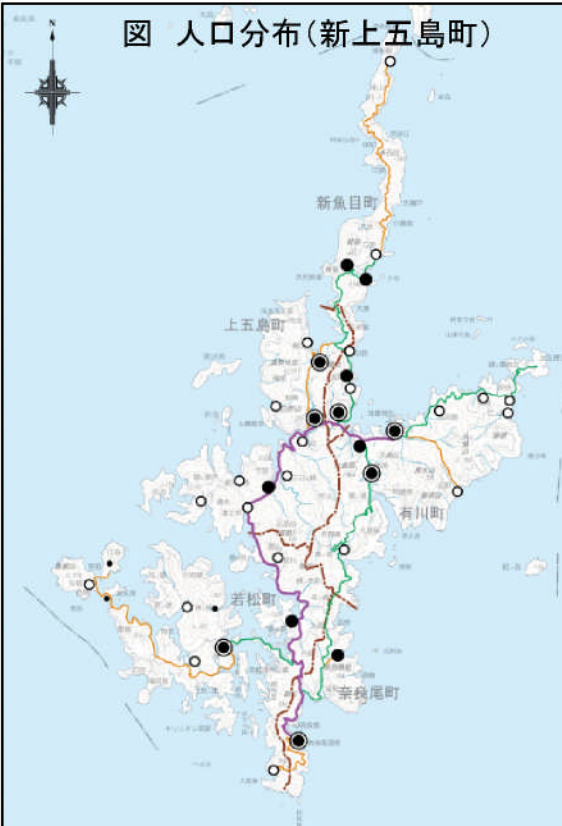
各ネットワークの機能強化を図る項目のため、道路未改良による離合困難や大型車走行困難区間の解消などを計る指標として、**選定した各ネットワークにおける走りやすい道路(2車線改良済道路)の占める割合**を成果指標とする。

各評価項目における成果指標の設定【3.指標の考え方】



補足資料 2車線カバー人口算定根拠図

・H22国勢調査小地域人口を小地域の中心(民家集積地、施設立地位置等)にプロット



凡 例

- 100人未満
- 100人～499人
- 500人～999人
- 1,000人以上

資料:H22国勢調査

産業活性化・防災機能強化に資する路線選定

成果指標項目	路線選定の方法
農水産業輸送経路	<p>主な農産施設※¹、水揚げ港※²と主な出荷港※³を連絡する路線を選定する。(農産施設は壱岐市、五島市のみ設定) ※地元地域のヒアリングにより補完</p>
観光ネットワーク	<p>長崎観光ポータルサイト((社)長崎県観光連盟)で位置づけられているモデルコース※⁴に該当する路線を選定する。 ※地元地域のヒアリングにより補完</p>
緊急輸送道路ネットワーク	<p>長崎県が地域防災計画で指定している緊急輸送道路ネットワーク(H25.6)※⁵に該当する路線を設定する。</p>

※1:家畜市場、ライスセンター(壱岐市、五島市のみ)

※2:年間陸揚量200t以上(離島190港平均値(H23実績))の港、補足資料参照

※3:ヒアリングによる。

	農業	漁業
対馬市	—	巖原港
壱岐市	郷ノ浦港、芦辺港、印通寺港	印通寺港
五島市	福江港	福江港
新上五島町	—	有川港

※4:別添資料参照

※5:別添資料参照

農水産業輸送経路の選定(※2: 主な水揚げ港の考え方)

※3: 主な水揚げ港の考え方

離島の水揚げ港190港の平均年間陸揚量200t以上の53港で、年間陸揚量の大半(83%)をカバーできることから、「年間陸揚量200t以上」を選定基準として設定した。

表 水揚げ港数と年間陸揚量

	全体	年間陸揚量 200t以上の港	
		数	割合
水揚げ港数	190	53	28%
年間陸揚量(t)	37,959	31,538	83%

表 年間陸揚量200t異常の水揚げ港数

対馬市		壱岐市		五島市		新上五島		その他離島	
港名	年間 陸揚量 (t)	港名	年間 陸揚量 (t)	港名	年間 陸揚量 (t)	港名	年間 陸揚量 (t)	港名	年間 陸揚量 (t)
比田勝港	2,433	勝本港	3,213	奈留	1,109	小串	969	小値賀	479
千尋藻	1,059	芦辺	1,268	福江港	924	神部	879	斑	344
佐賀	886	郷ノ浦港	614	玉之浦港	685	土井ノ浦	718	平	249
曾ノ浦港	738	大島(壱岐)	579	水ノ浦	485	丸尾	685		
豆殿	561	印通寺港	458	櫻ノ浦	467	日島	295		
高浜	532	八幡浦	342	三井楽	450	崎浦	262		
水崎	491			貝津	273	有川港	1,621		
三浦湾	487					青方港	1,001		
西海	451					若松港	446		
尾崎	451								
鴨居瀬	434								
志多賀	360								
塩浜	342								
志越	293								
巖原港	269								
泉	259								
小茂田港	259								
唐崎	253								
越高	239								
女連	227								
根緒	226								
竹敷港	223								
仁田港	218								
大船越	213								
鹿見港	213								
櫛	207								
小綱	202								
鰐ノ浦	200								

資料: H23漁港港勢調査

農水産業輸送経路の選定



対馬市

農水産業輸送経路

凡例

— 農水産業輸送経路

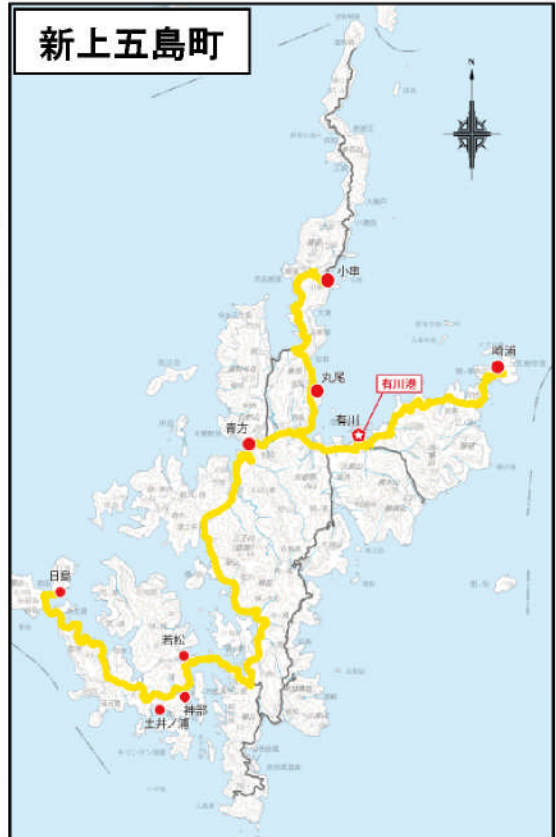
☆ 主な出荷港(※1)

■ 主な農産施設(※1)

● 主な水揚げ港(※2)

※1: ヒアリングによる

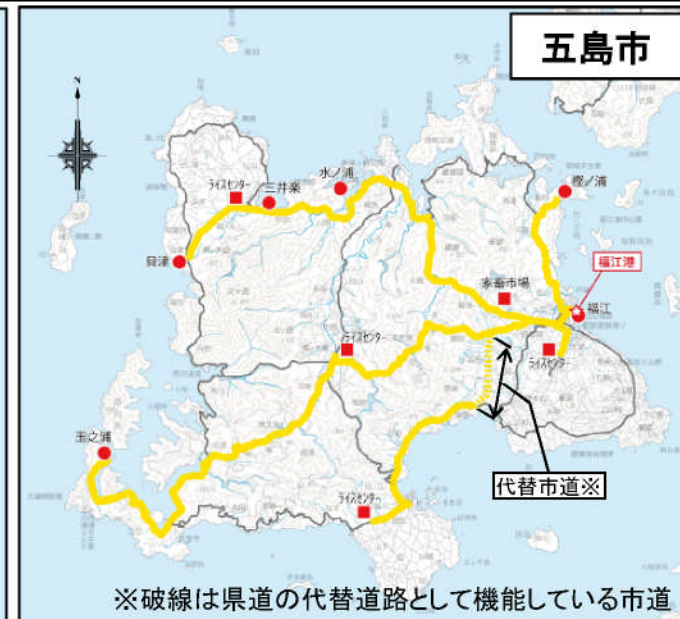
※2: 陸揚量200t(対象190港平均)以上



新上五島町



沓崎市

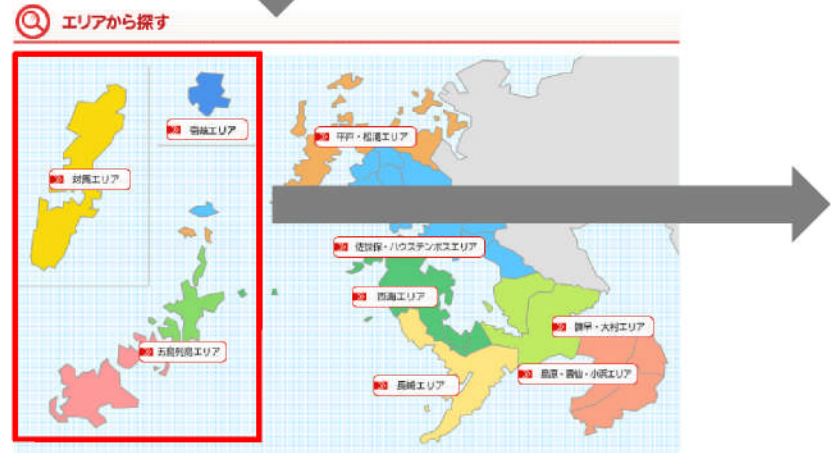


五島市

※破線は県道の代替道路として機能している市道

観光ネットワークの選定(※4:観光モデルコース)

長崎観光ポータルサイト((社)長崎県観光連盟)では、長崎県のエリアごとに、特色あるテーマを持った観光モデルコースが設定されている。



離島エリアの観光モデルコース

対馬エリア

・11コース(うち車利用7コース)

モデルコース MODEL COURSE

対馬・下島エリア
ネイチャー体験1泊2日

南に70kmと日本の離島の中で3島目に入ります。このコースでは往復を高速船、島船は飛行機を利用し、知覧郡での海軍博物館を巡る1泊2日コースをご紹介します。

- 1 高島町 高島町
- 2 高島町 高島町
- 3 高島町 高島町
- 4 高島町 高島町
- 5 高島町 高島町
- 6 高島町 高島町
- 7 高島町 高島町
- 8 高島町 高島町
- 9 高島町 高島町
- 10 高島町 高島町
- 11 高島町 高島町

壱岐エリア

・10コース(うち車利用7コース)

モデルコース MODEL COURSE

壱岐エリア 島のテーマ: 歴史をじっくり学ぶ
弥生時代へタイムスリップ?
「魏志」倭人伝の島へ

古くから海の交通の要衝として栄え、さまざまな大陸の文化を吸収してきた壱岐。そんな歴史を紐解くと、弥生時代まで遡る。そう、「魏志」倭人伝に「一支國」と記されるそれ、約2000年前の歴史を体験する旅へ、いざ!

- 1 壱岐 壱岐
- 2 壱岐 壱岐
- 3 壱岐 壱岐
- 4 壱岐 壱岐
- 5 壱岐 壱岐

五島列島エリア

・21コース(うち車利用14コース)

モデルコース MODEL COURSE

五島列島エリア 島のテーマ: もうすぐ世界遺産を訪ねる
福江島に点在する教会群をめぐる
教会巡礼の旅

20年以上の歳、美しい聖域に数え及がらぬ教会を誇りた、五島列島の教会巡礼の旅。五島。その歴史を知り、今もなお生き続ける祈りの心を感じる旅へ。ただし、教会はあくまで巡りの場。ミサなどが行われている場合は拝観を控えよう。

- 1 五島列島 五島列島
- 2 五島列島 五島列島
- 3 五島列島 五島列島
- 4 五島列島 五島列島
- 5 五島列島 五島列島

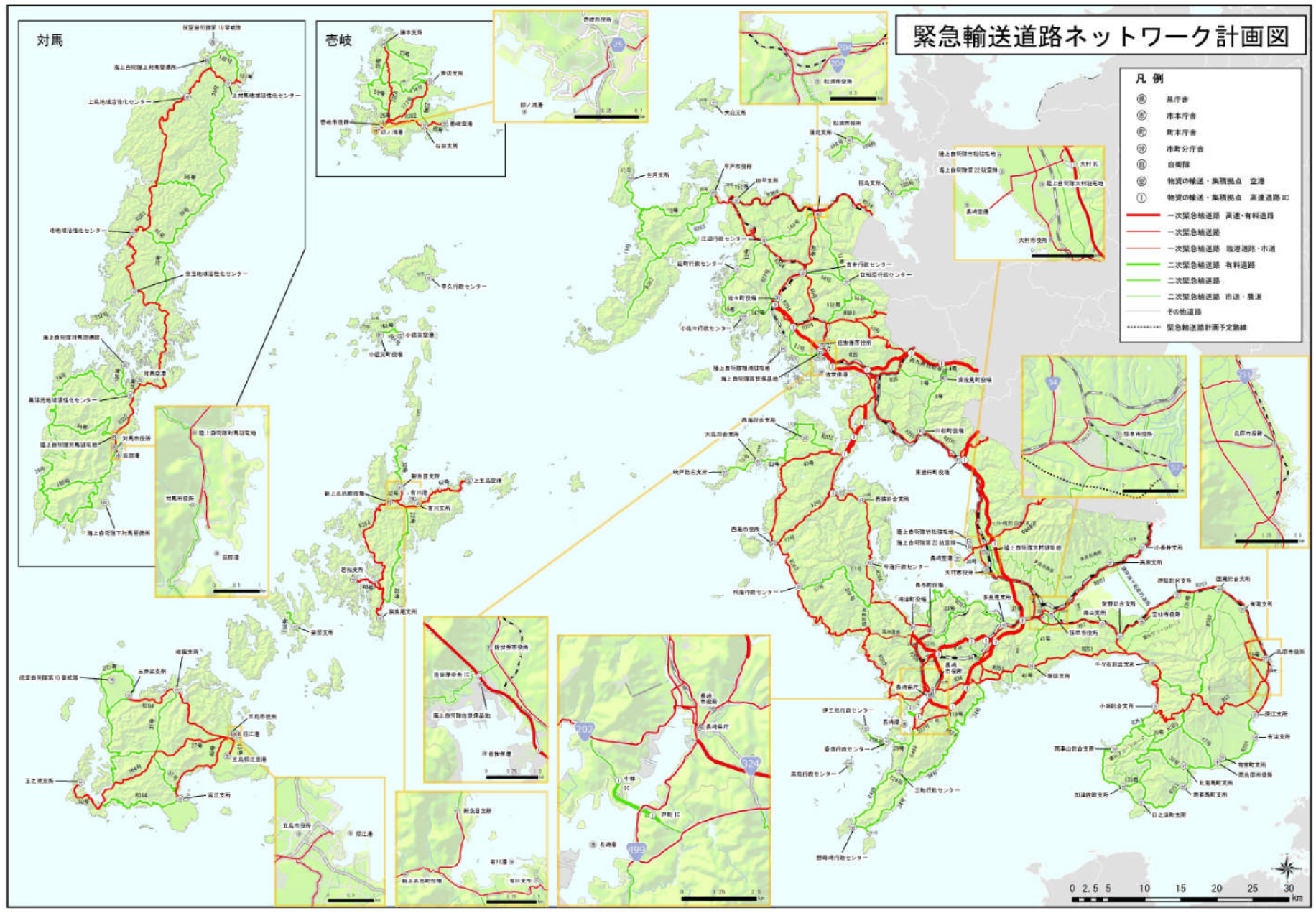
モデルコース MODEL COURSE

五島列島エリア 島のテーマ: もうすぐ世界遺産を訪ねる
上五島・中通島 教会めぐり

長崎県から約100km、敷島五島の中通島に点在する世界遺産候補の建築群。さらに5つの教会を巡る日帰りプラン。「長崎キリシタン紀行 長崎編」と組み合わせた1泊2日コースもおすすめです。

- 1 五島列島 五島列島
- 2 五島列島 五島列島
- 3 五島列島 五島列島
- 4 五島列島 五島列島
- 5 五島列島 五島列島
- 6 五島列島 五島列島
- 7 五島列島 五島列島
- 8 五島列島 五島列島
- 9 五島列島 五島列島
- 10 五島列島 五島列島
- 11 五島列島 五島列島

緊急輸送道路の選定(※5:緊急輸送道路ネットワーク)



緊急輸送道路の選定



緊急輸送道路

凡 例

— 緊急輸送道路

